

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス イルカ		
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様ご本人様が、安心感や楽しいと思って通所頂けている。	活動内容を職員全員で検討させていただき、それぞれジャンルの違った内容を行っているため、日々の内容を楽しみに通所頂けています。	学習面について基本的取り組みが楽しく行う事ができる内容だとより一層保護者様にもご満足頂けるのではと思いますので、検討していきます。
2	個別支援計画書に関して保護者様からの意見やニーズを反映させることが出来ている。	作成するにあたって、職員全体でのカンファレンス、保護者様へのご要望の聴取を積極的に行っております。	面談の回数を増やしたり、まとまった時間でお話できるような環境を整えていきます。
3	支援内容として傾向の近い利用者様が多いため、統一した支援を行うことができる。	・人との距離やコミュニケーションの取り方、関わり方の支援を行っている。 ・キッズピラティス、リトミック、運動遊び等により、体力向上を行っている。	成長や発達段階に応じた活動や達成感を感じることができるような支援を目指して日々プログラムの検討を行ってまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館、保育園、幼稚園との交流等、外部との活動などが行えていない、地域との関わりが弱みだと考えております。	地域のイベントや交流に参加できる機会がなかったので、日々関係機関様とのコミュニケーションを図り、参加体制を整えるべきだと思います。	就労支援事業所様による販売のイベントや、市内で開催されている行事への参加の機会を設け、地域との交流が出来る場を作っていきたいと思っております。
2			
3			

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					回収数	
放課後等デイサービス イルカ		令和7年 3月 31日					3名	2名
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	2						
	2	1	1			基準が分からないのでいいかはわからない。	規定の人員を減らした配置となっております。	
	3		1		1		生活空間を区切って何をやる場所なのか分かり難く 指示したり、スケジュールを表示したりしていま す。	
	4	2						
適切 な 支 援 の 提 供	5	2						
	6	2						
	7	2						
	8	2						
	9	2						
	10	2						
	11	1			1		公園や公共施設の利用の機会には他の子どもとふ れあいの機会を大切にしよう支援して押します。 今後、このような機会を増やしていけたらと思っ ております。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	2						
	13	1	1				ご説明の際、不明な点をごいししたら再度ご説明 の機会を設けてさせていただきます。	
	14	1	1				今後SNSを活用した支援情報の発信など行ってい たいと考えています。	
	15	2						
	16		2			面談していないのでわかりません。	連絡ノートや日々の連絡時にお話しできるよう努め ております。面談は常時受け付けておりますので、 気軽にお声かけください。	
	17	2						
	18	1			1		保護者懇話会を定期的に設けております。来年度も 開催予定です。ご参加いただければと思います。	
	19	2						
非 常 時 等 の 対 応	20	2						
	21	1			1		HPとインスタグラムを通じて活動の様子を公開して おります。	
	22	1			1			
	23	2						
	24	2						
満 足 度	25	2						
	26	2						
	27	2						
28	2							
29	2							

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス イルカ				公表日	令和7年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	規定人員は満たしているが十分な支援を行うために職員は適宜募集している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	用途によって空間を区切ったり、目で見て分かり易い掲示をしたりしている。	建物の構造上バリアフリー化が困難であるため、ご利用者様の特性に合わせて配慮し支援している。今後もより良い環境づくりに努めていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	個別の部屋はないが、空間は区切ってあるので個別の対応が必要な際にはその一つを使っていたくよう支援している。	パーティションの使用など適宜対応していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者アンケートを実施し今後の運営に役立てるように努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		現在が第三者による外部評価は行っていませんが今後検討していく予定。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページで公開している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		担当会議を実施している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		一覧を作成するなど職員が常に把握し、適切な支援ができるよう工夫している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員会議やレク会議にて検討を行っている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		職員会議やレク会議にて検討を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		フォーマルな形式のミーティングではないが、支援や利用者様の情報の引継ぎなどは話し合うようにしているので今後フォーマルな形にしていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		フォーマルな形式のミーティングではないが、支援や利用者様の情報の引継ぎなどは話し合うようにしているので今後フォーマルな形にしていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援計画に沿って支援内容の記録をとり都度確認、検証、改善できるよう努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	保健センターや相談支援事業所との連携、関係機関とのやりとりは継続して行っている。	連携や連絡の密度を上げていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	地域マネジメントとして年2回、担当の児童発達支援センター職員の来所、助言を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1		外出行事の際には地域の子どもと活動することはできるが、機会としては設けていない為、今後レクリエーションの一環として実施していきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		地域部会の研修には参加しているので頻度を上げていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	送迎時や連絡ノートで保護者様からの相談にお答えするようにしている。また、保護者様からの希望がある場合は面談を実施している。	定期的な保護者参観の実施、研修の実施など検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	送迎時や連絡ノートで保護者様からの相談にお答えするようにしている。また、保護者様からの希望がある場合は面談を実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者参観日を実施している。	保護者参観の定期的な実施に取り組んでいく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談や申し入れがあった際には迅速かつ丁寧に対応できるように心掛け職員全員に内容を周知、共有して適切な対応を行っている。また、重要事項説明書にも苦情対応窓口を記載し説明もしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HPやInstagramにて公開している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報個人別ファイルを施錠したロッカーにて保管し個人情報の取扱いに関しては研修を行うなど注意を徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		現在のところ実施していないので検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルを策定し事業所内に提示している。また、会議や訓練を行い職員間には周知しており、保護者には必要に応じて説明している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に健康の記録を記入していただき、都度確認し支援している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		マニュアルを策定し研修や訓練の実施をしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		過去の事例を一覧にして都度確認ができるようにしている。また、事例検討を行う事で周知と理解の向上に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		職員会議内にて事例の検討を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				